



薫泉

学校の目標
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心を持ち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。
・よく考え、進んで学習する子ども
・いつも元気で、しようぶな子ども
・こころ豊かで、やさしい子ども

二学期の合言葉「矢口魂とは」です

あの日から 五年も過ぎし 高校生
校長 井上光広

校歌歌える 矢口魂 (三年生の兄・高校生)

運動会 気合を入れて 登校だ

矢口魂 今こそ見せる (六年女子)

矢口小 毎年こうれい 畑をね

みんななかよく できる魂(六年女子)

臨時休校中の矢口魂短歌コンクール作品から、あらためて三作品を紹介しました。

ホームページの「校長室の窓・子どもの心の宝探し」でも紹介しておりますが、これまで私は学校の皆さんに、毎学期目標としていきたい合言葉を示してきました。「高める二学期」「はばたく三学期」「いつも元気でしようぶな子ども」ときて、今学期は「矢口魂とは」にしました。これは、来年度に本校が迎える開校一三〇年に向けてのスタートを切るための意義を込めております。



校内のあちらこちらに残っている「矢口魂」の文字。教員が毎年作成して、日頃から仕事着として着ているポロシャツの背中や胸にも

「矢口魂」とプリントされています。また、一二〇周年の時に作られ、今でも地域と共に歩んでいるスモールキャラクター・亀の「魂太郎(たまたろう)」も年々、存在感を高めている感じです。そもそも「矢口魂」とはいったい何なのかということとを、一二〇周年に向けて、今の時代や子どもたちに合ったものに深化(進化)させることが、とても大事だと私は判断しました。

学校の柱となる根本精神があるかないかでは、大きな差となって顕れると感じています。身近なところで例をあげさせてもらえば、本校の学区域にあり、様々にお世話になっている日本体育大学荏原高等学校でも、大学理事長の松波健四郎氏が日体大一二五周年の挨拶で「日体魂を忘れることなく」と述べられております。そして荏原高校も「心と体を鍛える教育」を減点精神に、厳しく自己訓練をしていく伝統が引き継がれております。

一三〇周年へ今後一年間をかけ、矢口小学校の総力をあげて、令和の時代の「矢口魂」を深めていきます。そのために、校長である私自身も「矢口魂」をテーマにした授業を、各学級で実践するつもりです。本校を卒業された方々、また本校に勤務されていた先生方、さらには矢口小を愛する地域の皆様方、そして現役の保護者の皆様も、「こういうことが矢口魂なのだ」というお声を、学校にお寄せいただけますと、学校の教育力が一層高まります。何卒、御協力のほど、よろしく願っています。

こうした取組の様子は、「開かれた学校」を目指し、本校ホームページ上で引き続き記事にしていきたいと思いますので、御笑覧いただければ幸いです。

大田区教育委員会の働き方改革施策により新たに設置した「教員支援員」が九月一日より本校に着任しました。

(教員支援員) 早川 数美

運動会について

例年と大きく変わりますが、今年も運動会を実施します。詳細は「運動会開催に向けてのお詫びとお願い」をご覧ください。

【日にち】十月二十二日(木)

雨天の場合 二十三日(金)

学校では今、各学年徒競走のためにタイム計測をしたり、高学年は棒体操のための基礎練習を始めたりにしています。

子ども達は、ルールを守り、安全に気を付けながら互いに協力し、楽しく運動することをめあてに本番まで学習をします。当日までの準備期間も含めて子ども達が、大きく成長できる時間になればと思います。

十月の生活目標

友達となかよくしよう 生活指導部

運動会に向けて、各学年で友達と協力しながら学習を進める機会が増えてきています。

そこで今月の目標は「友達となかよくしよう」です。相手の気持ちを考えて行動したり、友達となかよくなれる言葉を遣ったり、友達の良いところを積極的に見つけたり、様々な場面で思いやりをもった行動が意識してできる様に、今月は指導していきます。

なかよく楽しい学校生活を送ることができるよう一人一人が心がけ、矢口小学校を明るい笑顔の溢れる学校にしていきましょう。

